

北海道が目指す  
教育の基本理念

【自立】 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む  
【共生】 ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

## 令和6年度 胆振管内教育推進の重点

【推進テーマ】 一人一人の子どもの主語にする学校づくり ～学校内外の協働の深化を図る学校経営～



### 令和の日本型学校教育の構築に向けた胆振独自の6つの重点

#### 重点1 資質・能力の向上

- 子どもが自己調整しながら学びを進め、自立した学習者となるための指導方法の確立・共有・活用
- 運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成
- 自己存在感や自己有用感を高める取組の充実

- 育成する資質・能力を明確にした指導とICT環境を適切に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- 体育・保健体育の授業改善及び新体力テストの活用による自己の体力の現状を踏まえた体力向上の目標設定の推進と運動機会の確保の充実
- いじめや不登校の未然防止と早期発見・早期対応を含めた全ての子どもたちの発達を支える生徒指導の充実
- ICT活用等による不登校児童生徒への多様な適切な支援の推進

#### 重点4 地域との連携・協働

- いびり五大遺産などの地域素材を活用した「地学協働」の推進及び情報発信
- まちづくりにかかわる人材を育てるふるさと教育の推進

- 持続可能な地域づくりに向けたCS等を活かした地学協働推進体制の確立
- 家庭・地域への学習成果に関する情報の発信
- 地域の一員としての意識を身に付けさせた指導の充実
- 地域人材や文化財を活用した学習の推進
- 地域の課題解決に向けた行動を実践・発信する機会の創出

#### 重点2 特別支援教育の充実

- 障がいのある子どもたちの学びの場の保障
- 切れ目のない一貫した指導や支援体制の確立
- 管理職を含む全ての教員の特別支援教育に関する専門性の確保・向上

- 特別支援学級や通級による指導、通常の学級等の多様な学びの場における一人一人の障がいの状態等に合わせた指導や支援の充実
- 連続性のある適切な学びの場と指導体制の整備
- 個別の教育支援計画等を活用した教育、家庭、医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携の促進
- 全ての教職員を対象とした特別な教育的支援を必要とする子どもへの理解及び対応の研修とチームによる支援の充実

#### 重点5 教員の人材育成

- 学校の総合力を高めるための中・長期的かつ計画的な人材の育成
- 北海道における教員育成指標を活用した取組の推進
- 信頼される学校づくりに向けた不祥事根絶の取組の推進

- 幅広く校務分掌を経験できる校内人事等によるミドルリーダー・女性管理職候補者の育成
- 面談時におけるキャリアプランへの指導助言と研修受講の奨励
- 教員に共通する資質能力の向上と主体的・継続的で個別最適・協働的な学びの促進
- 服務規律の徹底と人権意識・倫理感等の醸成に向けた一人一人の心に響く研修の実施

#### 重点3 生活・学習習慣の確立

- 家庭と連携した生活・学習習慣の確立に向けた取組の推進
- 望ましい電子メディアの利活用に向けた啓発活動の推進

- 使用目的を考えた適切な電子メディア利活用の推進
- 家庭・PTAと連携した組織的な取組の推進
- 主体的な目標設定や振り返り等を基に自己調整しながら家庭学習を進める取組の充実
- 生活リズムの改善に向けた取組の推進

#### 重点6 働き方改革の推進

- 教育活動の質の向上を実感できる学校における働き方改革の推進
- 北海道アクション・プランに基づく学校、市町教育委員会と連携した取組の推進

- 「Road」等を活用した組織的な取組の推進
- ICTを活用した校務の効率化の徹底や、保護者・地域等との連携・協働による業務の推進
- 真に必要な教育活動の充実に繋がる適切な教育課程の編成・実施
- 教頭の業務改善や支援に向けた取組の推進
- 地域と協働した部活動の「地域移行」の在り方の検討・推進

### 組織的な取組による検証改善サイクルの確立



学校における重点達成への鍵

精進 徹底 継続

役割連携の強化

エビデンスの活用

短期サイクルの創出

教育局のキー

短期サイクルの創出

各種調査結果や学校訪問等から管内の状況(成果・課題)を整理・分析する際に、次回の整理・分析を行うまでに取り組みむべき伸長・改善策を検討・立案し、各市町・学校に応じた支援・助言を適宜実施。